

## 平成29年度 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

開催日時 平成30年3月15日（木） 午後1時30分から午後2時30分まで

開催場所 総合福祉保健センター3階 集団指導室

出席委員 石川 宏貴会長・赤井 淳二副会長・久保 秀一委員（代理 増永 美幸氏）・  
吉野 たず子委員・藤浪 民子委員・林 宏幸委員（鎌ヶ谷市こども支援課長）・  
山田 圭子委員（代理 柳 昌孝氏）

欠席委員 石川 広己委員・滝口 順子委員・今市 由美子委員

事務局 健康増進課菅井課長・本間主幹・山崎母子保健係長・館岡予防係長・舟波成人保  
健係長・山口主任栄養士

傍聴者 0人

配布資料 平成30年度かまがや福祉健康フェアへの参加について（案）（資料1）  
「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について（資料2）  
平成29年度食育推進部会事業及び平成30年度事業計画（案）（資料3）  
「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」概要版（追加資料）

議題等 （1）平成30年度福祉健康フェアへの参加について（案）  
（2）「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について  
（3）第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会の平成29年度事業実績及び  
平成30年度事業計画（案）について  
（4）その他

### 会議の概要

#### 1 課長あいさつ

#### 2 会長、副会長選出

推薦により、会長に石川 宏貴委員、副会長に赤井 淳二委員が決定

#### 3 議題

会議録署名人の選任について

会議録署名人に藤浪委員、林委員を指名（名簿順）

(1) 平成30年度福祉健康フェアへの参加について

石川会長： 議題1、平成30年度福祉健康フェアの参加について、事務局説明をお願いします。

事務局： 「平成30年度福祉健康フェア」への参加について説明させていただきます。

平成29年度の福祉健康フェアは「支えあい 広がれ 福祉と健康の輪」をテーマに平成29年11月12日開催され、お忙しい中、鎌ヶ谷市医師会、船橋歯科医師会、船橋薬剤師会、船橋市栄養士会皆様のご協力をいただきまして実施することができました。ありがとうございました。

平成29年度は予定されていた10月22日に衆議院解散に伴う選挙が行われることになり、日程変更しての実施になり、入場者は1,900人と前年度より400人減少しました。

健康づくり推進協議会と致しましては、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士の先生のご協力をいただき、相談コーナーを担当し、相談者が途切れることなく大盛況でした。

平成29年度は新たに認定NPO法人健康都市活動支援機構と協働し、健康づくりボランティアとコラボしての健康づくりコーナーを実施しました。認定NPO法人健康都市活動支援機構とは、鎌ヶ谷市が平成16年に加盟した健康都市日本支部の活動支援をしている団体です。平成29年度から実施したコーナーの内容としては、青空の下、脳トレゲーム、きりり鎌ヶ谷体操に続き、タオル体操を行いました。認定NPO法人健康都市活動支援機構からはタオル体操の講師の派遣、タオルの提供、健康づくりボランティアのPR用のティッシュの作成・提供をしていただきました。また、食生活改善協議会のコーナーでは試食の材料費、レシピの作成、食生活改善推進員PR用のティッシュの作成・提供をしていただきました。

お手元の資料1をご覧ください。

平成30年度につきましても福祉健康フェアが開催されることとなりましたので、多くの市民の皆様の健康づくりへの啓発の機会となりますことから、健康づくり推進協議会として参加を予定しております。開催予定日は10月21日、日曜日となっております。全体の開催テーマ・内容等につきましては、平成30年度の役員会で随時決定されますが、健康づくり推進協議会としましては、昨年と同様に、全体像は「自分のからだを知って、いきいき健康づくり」とし、内容につきましては、相談・計測・展示・体験等で参加したいと考えております。また、認定NPO法人健康都市活動支援機構との協働も来年度も同様に行う予定になっております。

来年度も、ご多忙中とは存じますがご協力をよろしくお願いいたします。

福祉健康フェアの参加については以上です。

石川会長： ただ今の「平成30年度福祉健康フェア」への参加につきまして、ご意見、

ご質問等ございますか。

石川会長： 今決まっている時点で、何か新しいことはありますか。

事務局： 4月以降に新しいメンバーでの会議が開催されるので、日程だけが決まっているところです。

石川会長： ご意見等ございますか。

(2)「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について

石川会長： それでは、次にいききたいと思います。議題2、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について事務局より報告をお願いします。

事務局： 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について説明をさせていただきます。

説明の前に、初めてこの会議に参加される方もいらっしゃいますので、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」についての概要をご説明いたします。資料は、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の概要版をご覧ください。この計画は、平成23年度から平成32年度までを計画期間としております。2ページ中ほどに第二次計画の位置づけが書いてございますが、本計画は、鎌ヶ谷市総合基本計画の施策の一つとなっております。『健康を支える保健・医療の充実』の行動計画として、策定されたものです。

次に、計画の構成をご覧ください。本計画では、【健康づくり領域】として5つの領域がございます。また、それぞれの領域には、特に力を入れて取り組む項目として【重点対策】を設けてございます。

3ページをご覧ください。この図は計画全体のイメージです。一番上に『鎌ヶ谷市総合基本計画』がございまして、「誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会の実現」を目指しております。次に、「いきいきプラン・健康かまがや21」と「食育推進計画」がございまして。

また、中ほど、黒い部分の「健康づくりの各領域」の下に、健康づくりを支える地域医療がございまして、毎年、地域医療の動きについても確認しているところでございます。

以上が、計画の大きな概要となっておりますが、各領域の概要につきましては、5ページ以降を参照していただければと思います。

では、資料2をご覧ください。平成29年度までの進捗状況の報告をいたします。1ページに進捗状況の概要として、各領域の重点対策をまとめました。次に2ページ以降は、「健康づくりの各領域」の詳細となっております。左側には計画書に書かれていること及び計画の推進を開始した平成23年度に取り組んだこと、そして右側へ順に平成27年度、平成28年度、平成29年度中に取り組んだことが並んでございます。平成29年度のところを見ていただくと、ところどころ太字の部分がございまして、これは、これまでの取組みに加えて、拡充や新たに取り組んだこととなります。

それでは、1 ページに戻っていただき、各領域の重点対策について、進捗状況の内容をご説明いたします。

まず、《栄養・食生活》につきましては、重点対策は「食育の推進」となっております。第2次食育推進計画に基づき、「朝食を食べる人を増やす」など、若い世代が正しい食生活を実践するための支援に重点的に取り組みました。新たに平成29年度に取り組んだこととしましては、給食センターと共催で小学生の親子を対象とした食育セミナーの開催や、小中学生の保護者向けに、日本ハムの栄養士を招き、食育講座として成長期の食に関する講演を行いました。その結果、講座等への若い世代の参加が増え、取り組むべきことを確認して、行動変容をするきっかけをつくることができました。

次に、《身体活動・運動》の重点対策の1つ目、「気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進」につきましては、身近にできる運動の推進として、女性のための健康講座の案内を、校長会を通し小学校の保護者に配布し、若い層からの参加が増加しました。重点対策の2つ目、「きらり鎌ヶ谷体操の普及啓発」については、きらり鎌ヶ谷体操指導員の活動を支援し、きらり体操の定例的な普及活動の場が1か所増加しました。また、小学校においても4校から5校に増え、定例的な普及の場が11か所に増加しました。参加した小学生からは、「自分も体操を広げたい」「今後も練習したい」「楽しかった」「家に帰ったら家族に教えたい」などの感想がありました。

次に、《休養・こころの健康づくり》の重点対策の1つ目、「親子のふれあいを大切にする活動の推進」では、主に毎月行われます4か月児健康相談に来所される保護者と赤ちゃんを対象に、「絵本の読み聞かせ」を通して親子のふれあいの大切さを伝える、『ブックスタート事業』を子育て支援センターや図書館と共に実施しております。昨年度より参加しているニココマフェスでは、図書館と連携し、大型絵本を活用したお話会を開催し、32組の親子が参加しました。平成29年度は新規ボランティアの育成を行い、新たに6人が加入し、現在ボランティアの登録数は52人となっております。なお、ボランティアのこれまでの活動が評価され、千葉県母子保健事業功労者表彰を受けました。重点対策の2つ目「自殺予防対策の推進」では、昨年同様、鎌ヶ谷警察署や保健所にもご出席いただき、自殺対策連絡会議を実施しました。会議で提案をいただきました「気づいてつなぐシート」を作成し、窓口の職員が来所した相談者の自殺直前のサインに気づき、複数の悩みを抱えている場合、できるだけ早い段階で、複数の相談機関と連携し、その悩みを早期に解決することができるようにしました。また、委員各課と収税課、保険年金課、建築住宅課で試行を行ったことで他課との連携の必要性を改めて認識することができました。

次に、《歯と口の健康づくり》の重点対策の1つ目、「永久歯のむし歯と歯周病予防の推進」では、船橋歯科医師会のご協力をいただき、市の実施計画事業である「フッ化物洗口事業」を継続し、フッ化物洗口対象者を全小学校にお

いて毎年1学年ずつ拡大しております。平成29年度は、市内の保育園・幼稚園の4歳から小学4年生まで、そして、小中学校の特別支援学級の児童生徒が実施しております。現在では、28施設5,431人が洗口を実施しており、確実に子どもたちのむし歯は減少しております。6年生のむし歯で見ますと、計画策定時の平成22年度に一人平均むし歯数が0.74本だったものが、平成29年度には0.36本と約2分の1に減少し、むし歯をもつ児童の割合も、平成22年度に57.5パーセントだったものが28.6パーセントと約2分の1に減少しました。また、歯周病予防の推進では、若い時からの歯周病予防を推進するため、歯周病検診の20歳の未受診者に対して、受診勧奨を実施し、平成28年度と比較し、受診率が4.05パーセントから6.71パーセントへ、2.66パーセント向上いたしました。重点対策の2つ目「口からはじめる「食育」の推進」につきましては、中学校1年生の食育講演会において、『カミング30』を普及し、特定保健指導時には、よく噛むことと肥満や糖尿病との関係のリーフレットを配布しました。また、介護予防教室等で、良く噛んで食べることで窒息事故を防止するという啓発を行いました。

次に、《疾病予防》の重点対策の1つ目、「生活習慣病予防の推進（がん対策）」につきましては、30歳代の乳がん検診に超音波検査を導入し、肝炎ウイルス検査を、45歳から70歳までの5歳刻みの年齢層へ、受診勧奨対象を拡大して実施しました。重点対策の2つ目、「生活習慣病予防の推進(特定健康診査・特定保健指導)」では、データヘルス計画第2期を策定しました。特定健康診査に血清クレアチニン、eGFR、血清尿酸を追加しました。未受診者対策としては、年代別にメッセージを変えたハガキによる受診勧奨を実施しました。また、人工透析への移行防止のため糖尿病性腎症重症化予防事業を開始し、13人に実施いたしました。重点対策の3つ目、「感染症予防の推進」では、「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づくマニュアルの見直しを行い、現在、新型インフルエンザ等住民接種マニュアルの作成を進めております。また、平成29年度は、日本脳炎やインフルエンザの供給不足となり、鎌ヶ谷市医師会にもご尽力いただき、協働でワクチン調査を実施し、市民に情報提供を行うとともに、県へワクチン供給の改善について要望書の提出を行いました。

次に、《地域づくりを支える医療について》ですが、平成29年度は、千葉県災害医療救護計画に基づき、鎌ヶ谷市の衛生医療班マニュアルを改訂し、医療救護関係者の打ち合わせ会を実施いたしました。発災時の机上訓練を関係者間で行い、役割の確認を行いました。また、救護所について市民に広く周知するため、市のホームページに公開しました。

以上、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の主な進捗状況となります。

この計画は、引き続き推進を続けてまいります。推進を開始してから、平成29年度で満7年を経過いたしますので、今後は、この重点対策について、

国や県の計画や、地域の状況等を踏まえて、見直しを行っていきたいと考えております。

以上になります。

石川会長： それでは、ただ今の「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についてご意見、ご質問等ございますか。

石川会長： 重点対策はまた変わるのでしょうか。毎年変わってきているものでしょうか。

事務局： 計画年を通して同じです。

石川会長： 10年のうち7年が過ぎて、あと3年、同じ重点対策で取り組まれて、一つ一つ読ませていただくと、よく取り組んでいると思いましたが、経過としては当初の予定のとおりでしょうか。

事務局： 計画の中では、領域ごとの目標値に向けて10年目で届くように、経年的に伸びてくるようにと毎年取り組んでいるところです。数値の評価はまだしておりませんので、そういったものが出ましたら、委員の皆さまにはお知らせをしていきたいと思っております。

石川会長： 医師会関係で言えば、身体活動・運動や疾病予防になりますが、本当はもう少し進んでいるところなのに、数値的に遅れ気味ということであれば、医師会としてももっと啓発していかなければと思いを聞きました。

事務局： 補足になりますが、運動の部分につきましては、住んでいるところの近くの会場を使いながら定期的に体を動かせる機会やきらり鎌ヶ谷体操の市民ボランティアの方が中心になって公民館を使って定期的に体を動かせる場を作ったりと、場の拡充に力を入れてやっているところでございます。

石川会長： 何かご意見はございますか。

赤井委員： 概要版4ページの保健目標について、1.2本というむし歯の数は7年前のものということですが、先ほどのフッ化物洗口のところで0.38本になったということ目標は達成されたということでしょうか。

事務局： 先ほどのは小学6年生、こちらは中学1年生です。

赤井委員： 小学6年生と12歳児ではそんなに差がないですよ。全国平均でいうと文科省で出しているものが0.83本ですから、非常に努力されているのかなと思います。

事務局： 小学6年生と中学1年生の差はありますが、確実にクリアしていると考えています。

赤井委員： 専門的に言うと、1を切ってくると、むし歯が重点から抜ける訳ではないが、子ども達の健康課題としては、歯肉炎や摂食などにシフトしつつあるのかなと思います。10年経った見直しの時に考えても良いかと思っております。フッ化物洗口事業は続けていって効果があるものですので、続けていって、口のことは別の健康課題が、子どもたちにはあるのかなと思います。

石川会長： ほかにご意見、ご質問等ございますか。今後ともよろしく申し上げます。

(3) 第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会の平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画(案)について

石川会長: 次に議題3、食育推進部会の平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画(案)について説明をお願いします。

藤浪委員: 食育推進部会では私が会長を務めさせていただいています。研修会、イベント等に関しましては事務局から説明をしていただきたいと思います。

事務局: それでは、食育推進部会事務局から、食育推進部会の報告をいたします。資料3をご覧ください。

まず、平成29年度事業報告となります。会議を3回、研修会を1回、食育推進計画推進のための勉強会を1回、イベントとしてコンクール2種類と講演会を開催しました。

1の会議の日程は資料のとおりとなります。平成29年度は新たに委員を委嘱する年度となり、委員の大半が新しい方となりましたので、第1回の会議では、食育について、第2次鎌ヶ谷市食育推進計画についての説明をいたしました。

2の研修会は、委員と関係団体の方の参加のもと、キューピー株式会社の食育講座で、食育まつりのテーマである野菜について学びました。「食」とは何かというところから、野菜の必要性、栄養面、野菜の旬、日本原産の野菜の紹介、野菜のおいしい食べ方や苦手な野菜の調理の工夫など、DVDを含めて幅広い内容で学ぶことができ、各分野での食育推進に活かすことと併せて、食育まつりのイベント内容を野菜の中で何をテーマにするのか詳細に検討することができました。

第2次鎌ヶ谷市食育推進計画推進のための勉強会では、平成27年度から食育推進計画の推進及び評価方法について助言をいただいている、女子栄養大学の林先生においでいただきました。平成30年度に向け、会議の中で意見があがっていた食育推進部会のテーマ設定の方法、研修会の取り組みについて助言をいただきましたので、第3回目の会議の中でテーマ設定に活用しました。

裏面をご覧ください。

3のイベント「みんなの食育まつり～野菜を食べよう大作戦!～」の開催では、コンクール2種類とイベントを開催しました。初めて開催した食育キャラクターイラストは272点、引き続き開催した食川柳は一般24点、子ども228点の応募がありました。食育キャラクターにつきましては、今後の食育推進部会で活用について検討をしていきます。イベントについては、野菜ソムリエ協会の北川先生にご講演をお願いしました。若い方向けの講演も多くされている先生でしたので、若い世代の参加が増えるようにテーマ設定をしていただき、子どもから大人まで楽しめるようクイズや試食等の内容の工夫もしていただきました。その他、初めての試みとして、コンクールの全作品を展示し、来場者に見ていただきました。この展示は、3月5日から9日まで市役所市民ホ

ールでも行いました。例年、各分野の取り組みを展示していましたが、今年度は配布資料として作成し、来場者に配布しました。また、例年同様に作品集を作成し、食育まつり来場者及びコンクール応募者に配布をいたしました。

平成29年度は、平成28年度に引き続き、若い世代への啓発、朝食摂取の推進に重点的に取り組んだことで、健康増進課と食生活改善協議会共催の食育活動では、こども支援課の協力を得て放課後児童クラブでの実施、給食センターと健康増進課共催で食育セミナーの開催など、新たな取り組みをすることができました。また、食生活改善協議会でも、中学生や高校生への食育活動を実施し、若い世代への啓発を行うことができました。

また、平成29年度から、児童センターからも委員として参加をしていただくことができましたので、食育推進計画に、児童センターにおける乳幼児期、小学生、子どもに接する大人への取り組みを加えていきたいと考えております。

食育推進計画の評価をまとめる中で、様々な分野で様々な食育に取り組んだという実績の評価にとどまっておらず、食育に取り組んだことによる市民の行動の変化をどのように図っていくか、検討する必要があることが明確になったため、来年度以降の課題として取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、2枚目の平成30年度食育推進部会計画(案)をご覧ください。平成30年度の事業計画となります。初めての試みとして年間のテーマを設定し、共通の目的を持って食育を推進していくことを目指し、取り組んでまいります。平成30年度のテーマは地産地消とし、各分野及び食育推進部会で共通して取り組んでいく予定です。

会議につきましては、これまで6月末から7月上旬に第1回会議を開催していましたが、話し合いの中で、食育推進部会での事業だけではなく、それぞれの分野の食育においても、他分野と協力し鎌ヶ谷市としての食育を進めていくことが必要で、そのためには、年度の早い段階で会議を開催できた方が良いのではないかという意見でまとめ、平成30年度は4月下旬に第1回会議を予定しております。第2回、第3回会議は今年度と同時期に行う予定です。

研修会は、各分野での取り組みについて確認し、意見交換ができる時間にしたいという意見が多く、外部講師を招かず、委員でディスカッションの時間とし、6月に開催する予定です。

イベントについては、地産地消をテーマとし、農家の方のご協力を得ながら参加型のイベントとする予定であります。コンクールは鎌産鎌消メニューのレシピを募集するものと、食べる喜びが表現された写真の2種類で開催予定です。時期につきましては、1月19日土曜日を予定しております。

食育推進部会の報告は以上です。

- 石川会長： ただ今の食育推進部会からの報告について、ご意見、ご質問等ございますか。
- 林 委員： 北川みゆきさんの野菜ソムリエのプロとはどういったものでしょうか。
- 事務局： 得意分野は詳しくは存じ上げませんが、野菜の栄養面、旬などについて詳し



く勉強され、資格をとり、啓発をされていると伺っています。

石川会長： 野菜ソムリエは民間の資格で、芸能人でも取っている方がいるようです。追加はありますでしょうか。藤浪委員追加ございますか。

藤浪委員： ございません。

事務局： 食生活改善協議会の食育活動の紹介をお願いしますでしょうか。

藤浪委員： ヘルスメイトは、子どもから高齢者まで全ての方に食育活動をしています。子どもたちには児童館等で一緒にクッキーを作り、その間に野菜がどこにできるかというようなクイズをしています。中学校は全中学校でヘルスサポーター講座をしており、バランス良く食べることの大切さや朝食を食べることの啓発活動をしています。高校は鎌ヶ谷西高等学校で5、6年前から授業の時間をいただいています。平成28年度から、講座と実習で2日間家庭科の授業に入らせていただいています。フードデザイン科という選択科目で取っている人にやらせてもらっているのも、熱心に受けてもらっています。参加型の授業を工夫して、野菜の手ばかりなどを取り入れています。料理の実習も時間が50分の中で作って、食べて、片付けてとあるので大変ですが、ミートローフも電子レンジで簡単に作れるものにしめたので、家でも作ってみたいという声もありました。朝食はポスターも使って啓発しましたので、朝食がこんなに大切だと初めて気づいた等の感想があり、担当した者はやりがいを感じています。

増永代理： 平成30年度にレシピコンクールをされるとのことですが、この後、作品集を作ると書かれています。例えば、このレシピを学校給食に活かすことは考えておられますか。

事務局： 会議内では、レシピをどう活用するか決まっていますが、次の会議で、このようなご意見をいただいたことを報告し、検討していきたいと思えます。

藤浪委員： それは思いついていなかったもので、ぜひ食育推進部会で報告し、検討させていただきたいです。

増永代理： 平成29年度のイラストや川柳コンクールも拝見し、みんなで参加できるような形だったので、せっかくやっているのも、みんなに広がる動きになっていたら良いかと思えます。

藤浪委員： 平成29年度の食育キャラクターの活用の話し合いもこれからですが、今後、仲間を増やしていく予定です。

石川会長： ありがとうございます。色々と検討してみてください。

#### (4) その他

石川会長： それでは、本日の議題の全体を通して何かご意見ございますか。

赤井委員： 学校給食や学校における食育では、ここに出てくる鎌ヶ谷のものを給食に使っているとか、給食の時に鎌ヶ谷で採れたものを子ども達にアピールしているのでしょうか。

もう一つが、プランの6ページ「おおむね1日3食とっている方」が21.

5パーセントというのは本当でしょうか。厳しい数値だと思うのですが。給食を食べていけば、最近は早ね早起き朝ごはんのアピールもあるので、朝ごはんを食べている子どもも増えていると思うので、子どもたちでこういうことはないと思いますが。どこでこのような数値になったのか、分かれば教えていただきたい。

柳代理： 学校給食では地産地消給食ということで、鎌ヶ谷産、千葉県産とどちらもありますが、放送委員会が放送をしていたり、献立の中にも入っているというアピールをしています。

藤浪委員： 食育推進部会での資料によると、給食センターの取り組みに、鎌産鎌消献立というのがあり、毎月1回以上鎌ヶ谷市内の農家さんをお願いし、鎌ヶ谷産の野菜入りの給食をお出ししていますというのが書いてあります。世界の料理献立、リクエスト献立というのもあり、給食センターの方も色々なことに取り組まれているようです。

石川会長： 赤井委員の言われた、21.5パーセントというのは高齢者も含まれているのでしょうか。

事務局： はい、そうです。計画策定の時に、市民健康意識調査を無作為抽出で3,000人位、鎌ヶ谷市に居住する15歳以上の市民の方にアンケートさせていただいた結果です。

藤浪委員： これは3食食べているだけではなく、バランス良くということですので、何かしら召し上がっていても、主食、主菜、副菜をそろえて食べているかということかと思います。

石川会長： ありがとうございます。事務局、何かありますか。

事務局： 特にありません。

石川会長： 皆様、本日はありがとうございました。また、事務局においては、今日の貴重なご意見を参考に計画を進めていただけるようお願いをいたします。

それでは、皆様、円滑な運営にご協力をいただき、ありがとうございます。これで、議長の役を終わらせていただきます。

事務局： 皆様、お忙しい中出席いただきまして、ありがとうございます。これで、本日の会を閉じさせていただきます。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成30年3月27日

署名人 藤浪 民子

署名人 林 宏幸